

各位



令和3年9月

凌風学園
京都市立凌風小中学校
学園長 岩佐 武司

令和3年度 京都市教育委員会 学力向上実践推進事業重点支援校

ようこそ凌風学園へ

研究報告会のご案内【第2次案内】

本学園は平成24年4月に「施設一体型小中一貫教育校」として開校し、今年10年目の節目を迎えました。義務教育9年間（4×3×2の3ステージ制）の学びと育ちをつなぐことを大切にし、「学びの作法の習得」「言語活動の充実」「キャリア形成支援」の3つの重点指導方針の下、しなやかに、たくましく社会を生き抜くための「自立」（主体性）と「自律」（社会性）の基礎を培う取組に努めています。

研究においては、学園生の実態をふまえ、キャリア教育の視点で、身につけさせたい資質・能力を明確にし、それらを育むためのカリキュラム・マネジメントの推進とともに、主体的に学ぶ姿から深い学びの実現に向けた授業改善や教育活動に取り組んでいます。さらに、今年度はGIGAスクール構想の下、学園生の「思考力・判断力・表現力」の向上を目指し、1人1台端末を効果的に活用する授業研究（社会・理科におけるパフォーマンス課題の活用）にも挑戦しているところです。

その成果の一端をお示すべく、凌風学園研究報告会を開催いたします。ぜひとも多数の皆様方のご参加をいただき、忌憚のないご意見、ご指導を賜りたくご案内申し上げます。

【研究テーマ】

学園生の豊かな創造力の育成
～主体的に学び続ける姿をめざして～

日時 令和3年10月29日（金）受付11:00～

タイムテーブル ※今後の感染状況によって変更になる可能性があります

11:00～	11:30～		13:30～14:15 13:30～14:20	14:30～15:10		15:25～16:50	16:55
受付	研究報告 施設見学	昼食	公開授業	研究協議	移動	講演	閉会

会場 凌風学園 京都市立凌風小中学校

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町56

TEL 075-693-8222

FAX 075-691-9029

E-mail ryofu-sc@edu.city.kyoto.jp

◎参加費 1000円 ※京都市立学校は無料

◎申込

- ・申込フォーム用のQRコードを読み取って、お申し込みください。
- ・本学園HPの申込用紙でも申し込み可能です。必要事項をご記入の上、凌風学園までE-mailで送信してください。【E-mail ryofu-sc@edu.city.kyoto.jp】
- ・本学園の教育・研究について事前に質問があれば、申し込みの際にお寄せください。
- ・申込受付後、本学園より参加受付確認の返信をしますので、電話・FAX番号、メールアドレス等の記入漏れがないようにお願いします。
- ・10月22日（金）までにお申し込みください。



申込フォーム QR

※ご注意 本学園へのご来校は、堅くお断りいたします。本学園には公共交通機関でお越しください。また、駐輪スペースも限られていますので、バイク・自転車でお越しの場合は東和校地にお願いします。（案内図は HP にあります。）

全体会

挨拶 凌風学園 学園長 岩佐 武司
京都市教育委員会 指導部長 太田 晴畝
研究報告 凌風学園 研究開発部 藤井 さやか
池上 暁

公開授業

校内研究体制として前・後期課程教員が一緒になって教科部会を組織し、部会ごとに授業を公開します。

学年・組	教科・領域部会	授業者	単元・題材名	授業会場
1～6年 5組 (育成)	育 成	山田 礼子 増田 まなみ 金田 晃洋	5くみまつりをしよう	1～6年5組教室 (1F)
1年1組	国 語	松田 怜佳	おもいうかべながらよもう「くじらぐも」	1年1組教室 (1F)
2年1組	算 数 ・ 数 学	森本 敦子	図を つかって 考えよう(3)	2年1組教室 (2F)
3年2組	道 徳	戸部 翔貴	たっきゅうは四人まで	3年2組教室 (2F)
4年3組	社 会	大原 澄久	府内の伝統や文化と先人の働き 2 用水のけんせつ～琵琶湖疏水～	4年3組教室 (2F)
5年2組	理 科	諸富 愛弓	もののとけ方	5年2組教室 (4F)
6年1組	英語・外国語活動	畑田 紗希	Unit6 This is my town.	6年1組教室 (4F)
7年2組	算 数 ・ 数 学	赤井 俊介	変化と対応 反比例	7年2組教室 (4F)
8年3組	社 会	岡橋 沙紀	近畿地方 ～持続可能な地域社会を目指して～	8年3組教室 (3F)
9年1組	理 科	池上 暁	化学変化とイオン 「水溶液とイオン」	9年1組教室 (3F)

講 演

「『深い学び』を実現する授業改善 - パフォーマンス課題とICTの活用 - 」

京都大学大学院教育学研究科・教授

西岡 加名恵 氏



【講師略歴】

英国バーミンガム大学にて Ph.D (Ed.) 取得。鳴門教育大学講師、京都大学助教授・准教授を経て2017年4月より現職。専門は教育方法学（カリキュラム論、教育評価論）。日本教育方法学会常任理事、日本カリキュラム学会理事。文部科学省「育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・内容と評価の在り方に関する検討会」委員などを歴任。主な著書に「教科の『深い学び』を実現するパフォーマンス評価」（日本標準）などがある。